

熊谷市「道の駅」基本構想（案）に対する意見及び市の考え方

1 意見募集期間

平成29年12月21日（木曜）から平成30年1月19日（金曜）まで

2 意見の提出者数及び意見等件数

提出者数 3名

意見等件数 15件

3 意見の概要と市の考え方

該当箇所	意見の概要	市の考え方
扱う食商品、 ショップ	小麦文化や新鮮な地元野菜による「食」のサービスやこだわりの商品の充実に対する具体的提案	今回は構想段階の検討であり、今後、基本計画や事業者募集等の段階で、最適なテナントの業種・業態を検討してまいります。
目玉	レトロ自販機など、「レトロ」をキーワードにコンセプトなどに取り入れてほしい。 行田市の特産とも連携して企画してほしい。	今回は構想段階の検討であり、今後、基本計画や事業者募集等の段階で、最適なテナントの業種・業態を検討してまいります。
コンセプト	季節のイベントなど、年間通じてくり返し利用者が訪れる企画をしていく。	具体的なイベント企画については、道の駅開業準備時から、商工団体、農業協同組合、観光関係者等との連携により企画し、年間スケジュールなども検討してまいります。
軽食類	市内のカフェの誘致と、フライ売り場を設置し、「市内店舗・観光マップ」を常設・配布する。	「食」に関する企画の具体化においても「質の高さ」・「市の魅力発信」を大事にしていきたいと考えます。 今後、基本計画や事業者募集等の段階で、最適なテナントの業種・業態を検討してまいります。

（次頁に続く）

道の駅の目的と立地計画	<p>フードパーク(食のテーマパーク)のイメージと道の駅とが両立するのか不明確である。</p> <p>行田市の道の駅新設計画との関係についてもどのような影響があるのか気がかりである。</p>	<p>「食のテーマパーク」というコンセプトを今後より具体的な形や仕掛けとして検討し、よりわかりやすい説明をしてまいります。</p> <p>行田市の道の駅新設計画についても今後十分に留意し、それを踏まえた熊谷の道の駅像を示していきます。</p>
機能について	<p>駐車場計画の中で、パークアンドライドの利用がどう位置づけられているか。</p> <p>行田のスポーツ公園と連携すべきではないか。</p> <p>道の駅への来客の誘致として、江南地域の活用は考えられないか。</p> <p>池上地区を流通センターの補完地域とできないか。</p>	<p>道の駅として利用状況を見ながら、総合的に検討したいと考えています。</p> <p>周辺の様々な施設との連携も、具体的な運用の中で検討してまいります。</p> <p>江南地域を始め、市内の既存の直売所との連携についても検討してまいります。</p> <p>具体的な土地利用については、今後、基本計画で検討を進めます。</p>
P 1 地域と共に作る個性豊かな賑わいの場所	<p>国土交通省の「道の駅」の基本コンセプト＝地域と共に作る個性豊かな賑わいの場に関する疑念。</p> <p>道の駅をつくること自体への疑問など。</p>	<p>今後、整備効果等を検証し、適切な管理運営計画などについて検討を進めます。</p>
P 3 こういった地元ブランドを創出し、全国へ発信していく拠点	<p>地元ブランドを創出し、道の駅を全国へ発信していく拠点にするならば、時代にあっていない。</p>	<p>「道の駅」整備により産業、観光、市民活動を活性化し市民を元気にする休憩拠点の実現を目指しています。</p>
P 4 日本を代表する食のテーマパーク	<p>道の駅を、日本を代表する食のテーマパークにするのは、時代にあっていない。</p>	<p>「食のテーマパーク」のみならず「道の駅」整備により産業、観光、市民活動を活性化し市民を元気にする休憩拠点の実現を目指しています。</p>

(次頁に続く)

P 8、P 9、 P 1 0 全体	道の駅に求められる機能はこれだけではない。	「道の駅」整備により産業、観光、市民活動を活性化し市民を元気にする休憩拠点の実現を目指して計画してまいります。 今後の検討により、よりわかりやすく説明してまいります。
P 1 2 採算性を確保 しつつ	道の駅の事業に対して熊谷市の財政がどれだけ関わるのか。	今後の計画の策定の中で、具体的な検討を進めてまいります。
全体	車のない市民でも集うことができるような、アートやデザインに配慮した施設の提案。 市街地での施設整備の検討を。	今後の計画の策定の中で、具体的な検討を進めてまいります。
全体	道の駅の施設に使う税金はどのくらいか。	今回は構想段階であり、事業規模などは具体化していません。 今後の計画の策定の中で、具体的な検討を進めてまいります。
全体	道の駅の計画をスタートした時期はいつか。	これまで準備段階としての内部検討を進めてきておりましたが、本年度、池上地区ほ場整備事業の採択を受け、具体的に検討を進めたものとなります。
全体	ハードも、ソフトも、デザイン性が高い施設を作っていただきたい。	今後の計画の策定の中で、具体的な検討を進めてまいります。